

## 27B 日帰り旅行サークル 〈令和元年の活動〉

【令和元年10月30日】

幹事：第2班（野澤班長）

### ◆「秋の大収穫ミステリー」の日帰り旅行へ行ってきましたよ♥

日帰り旅行サークルは、令和元年10月30日（水）タビックスジャパン新潟企画の「秋の大収穫ミステリー」ツアーに、9名（女性6名、男性3名）で参加しました。V(^-^)^V  
今回は、出発当日までどこへ行くか分からない、ミステリーツアーです。

どの高速道路に乗るのかな！！？？…どの道で、どこへ行くか、を予測することも、ワクワク・ドキドキのミステリーツアーの楽しみの1つです！

どこに向かうかは出発までのお楽しみだが、分からないと色々調べたくなるのが人情。

ヒントは以下の〔ツアーポイント〕にある。⇒ 行先は、〇〇方面に間違いない！

### <行程>

新潟駅南口(7:00 集まり次第出発)-ビッグスワン P(7:15)-巻潟東(7:40)=小千谷・小出・六日町=(高速)=  
★秋の大収穫ミステリー =各乗車地(19:40~)= 新潟駅(20:40 頃)

### 〔ツアーポイント〕

- ◆ミステリー旅行で行先は到着まで内緒！ (^\_^)~ お楽しみ ♪
- ◆昼食は、400年の歴史を誇る「日本三大うどん」。
- ◆まるで湯葉畑！！ とろっとろの生湯葉すくい体験（なんと食べ放題）
- ◆北海道産新巻鮭まるまるドーンと「箱入」をお持ち帰り。
- ◆さらに選べるお土産お持ち帰りセット付（①と②の選択）
  - ①りんご箱入9玉と野菜つめあわせ約2kg
  - ②3種のきのこセットと自家製スイーツ6種つめあわせ

ミステリーではあるが、「ツアーポイント」より「沼田・渋川」方面と断定！？

旅行日10月30日は、気温は20度/14度

と、曇り天気だが爽やかで恵まれた旅行日和。

6:30に新発田を出発したタビックス提携の「サンライズバス」が集合場所の一つ新潟駅南口バス乗場に到着する。

ここで我々グループ3名が乗り、ビッグスワンで6名、さらに巻潟東駐車場から他乗客も乗り込み、総勢43名で、〈関越道〉を快適に走りミステリー地に向かいました。我々は、バスの最後部を割り当てられたが、ここは座席間が広くゆったりして快適なスペースだった。



【榛名湖と榛名富士をバックに】

快適空間に落ち着くと共に、お菓子が行き交い…、話も弾み、賑やか空間になった。

野澤班長持参の新潟産ワインで数名はご機嫌。熟練ガイドの説明を聞きながら、高速道を南下。

バスは関越道沼田ICで高速を降り、沼田市に入る。

ミステリー最初に連れていかれたところは、湯葉が食べ放題の「生ゆば処 町田屋」です。

### 【生ゆば処 町田屋】

初めての生湯葉すくい体験♪、そして、とろとろ絶品湯葉が食べ放題♪。

豆乳の香り漂う店に到着し、湯葉すくい金棒と割箸とお皿の3点セットを受け取ったら、いよいよ湯葉すくい体験の始まり！。店内の奥にある、豆乳の香りが一杯に広がる工場内へ案内される。

豆乳のプールからは湯気が上がり、送風機で風をあてると表面に湯葉の膜が張出しテンションアップ！豆乳の上辺に薄くできる湯葉を金棒です〜とすくえた時は、とっても気持ちが良い。

生湯葉の他にも、パリパリの揚げ湯葉や煮物等いろんな種類の湯葉・豆腐料理が用意されていた。

いつか湯葉すくいをしてみたいと思っていたが、体験でき、しかも食べ放題で！満足満足。

すくえたての湯葉は柔らかくしっとりとして喉越しがよく、上品でヘルシーな美味しさ。

調味料はいろいろあったが、醤油にわさびが相性抜群。

出来立ての湯葉を好きなだけ食べられるのは貴重な体験で、楽しかった！

また、ソフトドリンク・梅酒・日本酒・ワイン等の飲み物も飲み放題だったが、何故か湯葉すくいに夢中で飲料どころではなかった。

### ◆とろとろの生湯葉すくい、群馬県沼田市の「生ゆば処 町田屋」を紹介

湯葉と言えば「ヘルシー」「豆腐」「豆乳」「京都」などが連想されますが、「湯葉の食べ放題」はなかなか思い浮かばない。そんな珍しい湯葉の食べ放題もや群馬県沼田市にある「生ゆば処 町田屋」は昭和25年に創業され、国産大豆を使用し丹精込めて湯葉・豆腐を造っているお店です。

湯葉・豆腐の商品をバリエーション豊富に販売している他、各旅行会社のバスツアーに組み込んで「湯葉すくい放題体験」や「湯葉食べ放題」などのイベントも行っている人気の立ち寄り施設でもある。



(意)欲丸出し湯葉食べ放題効果で、小腹は満たされ、次のミステリー地へ向かう。

### 【果実の里 原田農園】

バス乗車約10分後、観光ツアーの定番、ショッピングで立ち寄った原田農園。

ここは、一年中フルーツ狩りが楽しめる観光農園で有名。

年間を通して新鮮な農産物を提供しており、直売所も充実し、ここでしか手に入らないオリジナルな自家製のおみやげが、沢山揃っている。まずは、リンゴジュースの試飲で出迎えです。りんごの甘みを感じられとても美味しい。



名物「アップルクーヘン」



我々が買物している間、お土産の一つである、りんご9玉箱入（かなりの大玉です。）それに野菜2kg（太く長い立派な大根と白菜）をバスに積み込む（ミステリーのためガイドさんは何も語らず）。原田農園約30分滞在後、40分の乗車時間という昼食地まで向かう。



【原田農園前の善男善女一行】

**【うどん茶屋みずさわ「万葉亭」】伊香保温泉近く水沢観音門前**

日本三大うどんの一つに数えられる「水沢うどん」のお店で昼食。「水沢うどん」のざるうどん、舞茸などの天ぷら、炊き込みご飯、手作り豆腐のセットをいただいた。水沢うどんはコシがあってとても美味しい。おまんじゅうも付きお腹は十分満たされる。食後に売店へ。

名物は、うどんを揚げたお菓子「上州名物 あげうどん」。おせんべいのような適度な歯ごたえを持ちつつも、軽やかな口当たり。マヨネーズ・ソース・カレー・胡麻・のり塩・七味の6つの味は、どれも絶妙な味わいで、一度食べ出すと止まらない。



**【水沢うどんの紹介】400年の歴史を誇る「日本三大うどん」**

ふだん何気なく食べているうどんにも「日本三大うどん」と呼ばれるうどんがある。諸説あるが、香川の「讃岐うどん」と秋田の「稲庭うどん」に加え、群馬の「水沢うどん」の三つ

が三大うどんといわれている。水沢うどんは、約 1300 年前に創建された水澤寺（水澤観音）の僧侶がうどんの製法を伝えたといわれ、伊香保温泉のシンボル石段街ができた天正四年（1576年）頃に湯治客や水澤観世音の参拝に訪れる善男善女をうどんでもてなしたのが「水沢うどん」の始まりといわれ、現在に至っている。「水沢うどん」は、榛名山麓を流れる水と小麦粉と塩だけを使い、秘伝の手法で2日間をかけて仕上げる。秘伝といわれる独自の製法を守ったものだけが、水沢うどんを名乗れるそうだ。麺は若干細めでコシと弾力があり、ところどころ透き通るつるつるした白い麺が特徴。冷たいざるうどんを提供される場合が多い。つけ汁は、しょうゆだれやゴマだれなど、店によって異なる。

### 【カルデラ湖と榛名富士の絶景へ「榛名山と榛名湖」】

万葉亭でお腹いっぱいになった後、バスに乗り込み、次のミステリー目的地へ（30分所要）。

バスはどんどん山を登り、次第にいつか見た景色が目に入ってくる。そう、榛名湖と榛名山です。

バス駐車場から、榛名山が良く見える場所まで徒歩5分。

赤城山、妙義山と共に上毛三山のひとつに数えられる榛名山。

山頂にはカルデラ湖の榛名湖とカルデラ内にできた榛名富士

がある。紅葉の時期だったので、モミジ、カエデ、カラマツなどが鮮やかに色付き、山全体が錦に染まる榛名富士。榛名湖は自然のまま綺麗な湖だ。湖の向こうに見える榛名富士の美しい姿そして湖に写る姿は絶景でした。なんととっても人が少ないのが良いですね。

そうそう、榛名山と榛名富士が違うという事を初めて知りました。榛名富士＝榛名山だと思っていた。

この榛名湖こそ山の山頂であり中心。つまり、火口にできたカルデラ湖だったのです。

そして周囲の山々全体が榛名山ということ。すなわち、榛名山は多くの峰を持つ複雑な形状なのですね。恥ずかしながら、ここまで来て「なんで榛名山という山がどこにも見つからないのだろう」と、いぶかしく感じてしまいましたが、榛名山のど真ん中にいた訳ですね。



### 【庵古堂】

榛名富士と榛名湖の紅葉を堪能した後は、バスに乗り込み、伊香保温泉街を横目に水沢観音の横を通り、吉岡町に入った所にあるお土産屋さんへ。バスを降りるとガイドさんから試食のお饅頭をいただいた。1階の売店にはたくさんのお土産品と地元の野菜などが売られている。

プロが選ぶ観光・食事・お土産物施設100選で庵古堂は8位入選とのことで、店舗の入口に横断幕が掲げられていた。敷地内の切り絵緑の美術館では切り絵体験が可能とか（今回はパス）。

### ◆群馬名物 焼きまんじゅう

買物が終わり、バスに乗り込む際に、2個の焼きまんじゅうを頂く。店内での炭火焼の臭いにつられ、買ってしまった女性4人は『え〜っ!』

焼きまんじゅうは、パンの様なモノに甘めの味噌ダレを塗って焼いてある食べ物だ。





## 【群馬まいたけセンター】

さあ、ミステリー最後の目的地へ。バスで5分位といわれ到着した場所は「群馬まいたけセンター」。ここでは、通常の2倍の栽培時間と手間をかけ「100日まいたけ」を栽培している。まいたけ工場見学の他、まいたけを使用した食べ物やお土産を試食・販売している。

### ◆試食まいたけのバター炒め

そんなに大きな建物ではないが、入口の横には「歓迎」の看板がいくつもあり、ツアー客や団体のお客さんが来店するんだろうなあと思像する。試食まいたけのバター炒めが出来上がるまでの間、お店の方がバスに乗り込み面白く説明する（車内は笑いに包まれた）。

出来上がったという連絡を受け、100日まいたけの栽培しているところをガラス越しに見学。

その後、店内へ。いい匂いがたちこめている。正面入口を入ってすぐに肉厚のまいたけバター炒めを試食する。これは美味しい、絶品だ。

次の試食は、まいたけ茶を紙コップで試飲し、そのカップを捨てずに奥に進み、刻みまいたけ入りお味噌汁、上手い。血圧対策のまいたけ粉やふりかけなど、ほとんどの物を試食でき、従業員の皆さんとともにこやかに親切。立ち寄り最後のトイレも済ませ、15:30頃バスに乗り込み帰路へ。



### <お腹も土産も一杯のバスは新潟を目指す。>

当初旅程では、新潟駅南口20:40頃着予定としていたが、中越地区は別バスとなったため、巻潟東⇒ビッグスワン(17:40)⇒新潟駅南口17:55到着見込みと、帰りが早くなって嬉しい。

新潟駅南口で2名降車の予定だったが、何しろ土産が多く重く、タクシーとなるが、降車場所はタクシーが入ってこられないと予想がついたため途方に暮れていた。

それを見かねた小池さんが『私が送る』という天使の囁きに甘え、全員ビッグスワンで下車することに。ビッグスワンではバスから降ろされた土産が歩道一杯に。夫々の車に土産を積み込み、ハンバヌギもできないまま、名残惜しく皆さんとお別れ。お疲れ様でした。

今回は、第2班主催の初めてのミステリー旅行でしたが、参加者9名で楽しく充実した一日を過ごしました。

ミステリー旅行のメリットは、ツアー予約時から現地到着までのドキドキワクワク感があります。細かい立ち寄り先は不明のため、どこに連れて行ってくれるのかとの期待は、名物の水沢うどんやお土産などで充分応えていただきました。

また、風光明媚な榛名富士と榛名湖、そして紅葉を堪能。この度は、お天気にも恵まれ、穏やかに錦秋の秋の日を充分楽しむことができ大満足。これだから「日帰り旅行はやめられない!!」。

幹事の第2班の皆さまありがとうございました。

そして参加いただいた会員の皆さんお疲れ様でした♥。

次回は、第1班（金子班長）幹事の「春の旅行」（5月～6月頃）を楽しみにしています。

その前に、新年会兼総会（幹事：第4班秋山班長）が開催されるので、また大勢の皆さまのご参加

をお待ち致しております。

それまで、ご機嫌よう ♡ (^\_^)/~。